



働き
ながら

私のスタイルで
学べる。



兵庫教育大学大学院 フレックスクラス



Graduate School,
Hyogo University of Teacher Education
Flexible Schedule Classes



オンライン？ リアル？

1 働きながら学べるフレックスクラス

フレックスクラスでは、コースの特性にもよりますが、オンラインを活用してほぼ通学しなくても修了できるコースを多く開設しています。

- ▶ オンライン同期型(夜間授業をリアルタイム・双方向で)
- ▶ オンデマンド型(好きな時間にオンライン教材を視聴)
- ▶ ハイフレックス型(神戸キャンパスでの対面授業またはオンライン同期型を選択できる)



2 自分に合った方法で学べる



私は基本、通学せずにオンラインで受講し、研究指導等は指導教員と相談のうえ、土日や夏期休業中などに神戸キャンパスで対面で受講しています。



私は、週に1日だけ神戸キャンパスに通学する以外は、オンラインで受講しています。

このように、大学院の教員と相談しながら、自宅や職場などから自分に合った方法・ペースで学べます。

オンラインと対面授業、または両方を効果的に活用します。

また、オンデマンドの授業についてもTeamsやLMSを活用し、教員に気軽に質問でき、ディスカッションなど学生同士も交流できるようにしています。長期履修学生制度を使って3年間かけてゆったりと学ぶことも可能です。



3 フレックスクラス4つのメリット

1

学校現場を離れずに学べる
日本全国どこからでもOK

一部のコースは通学が必要です。
コース別一覧を参照してください。

2

指導教員等と相談しながら、
柔軟な指導が受けられる

オンラインに加え、神戸キャンパスでの対面授業も選択できるハイフレックス方式を導入

3

教職を続ける基盤となる理論や
実践、研究方法を身に付ける
ことができる

4

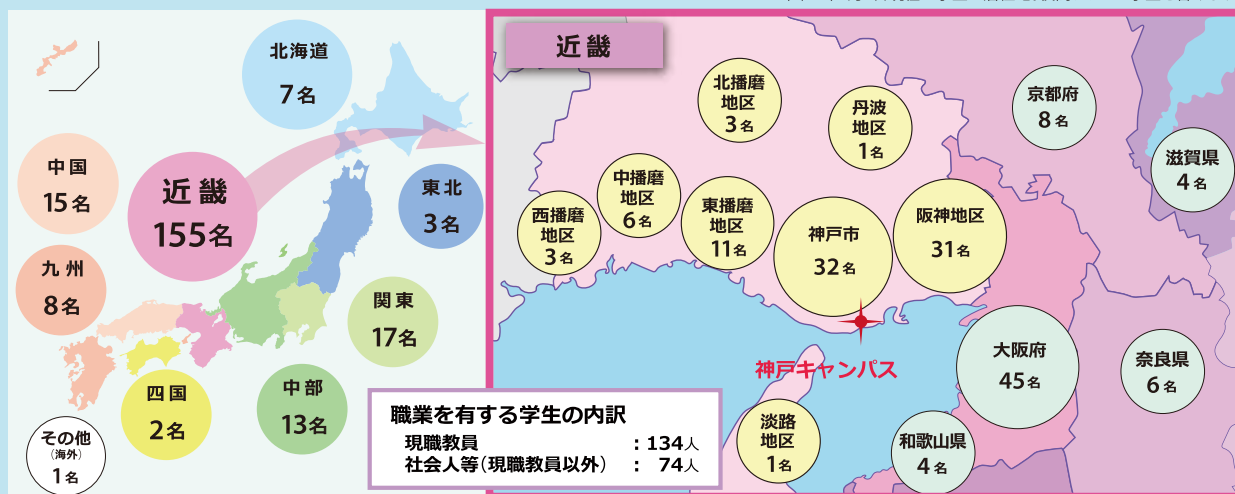
さまざまな課題を持ち、研究を
すすめる仲間や大学教員と意見
を交わしながら、学びをより深
めていくことができる

学び方は自由自在



4 フレックスクラスで学ぶ学生

*令和6年5月1日現在の学生の居住地。夜間クラスの学生を含みます。



5 授業料／長期履修学生制度

単位:円

	入学料	授業料 1年次	授業料 2年次	授業料 3年次	計
2年間で修了する場合	282,000	535,800	535,800	—	1,353,600
3年間で修了する場合	282,000	357,200	357,200	357,200	1,353,600

※ 長期履修学生制度の適用には条件があります。

長期履修学生制度とは

職業等を有する方が、2年間のカリキュラムを3年間かけて、ゆったり学べる制度です。
授業料は長期履修学生制度を活用しても2年で修了する方と同じです。

6 フレックスクラスの授業

オンライン同期型授業・対面授業(神戸キャンパス)の授業時間

平日(月曜～金曜)

オンライン同期型・対面授業の授業時間	
第6時限	18:30 - 20:00
第7時限	20:10 - 21:40

神戸キャンパスの利用時間	
平日	9:00 - 22:00
土日祝	9:00 - 18:00

院生研究室・図書室等自由に利用できます。
※ 大学の休業日等は除きます。

オンライン授業に必要な機器、システム等

入学者が用意するもの

PCまたはタブレット(キーボード付)
Webカメラ(PCやタブレット付属のものでOK)
Wi-Fi環境

大学が用意しているもの

WordやExcel、PowerPoint、Teams
(Microsoft365)

学ぶためのシステム(LMS)

* オンライン授業は、基本的にTeamsまたはZoomを使います。
授業の連絡は、大学で導入しているLMS(manaba)を使います。



ソフトウェアの使い方不安のある方も安心

LMS等のマニュアルを整備(Webでいつでも参照できます)

オリエンテーションでの説明や神戸キャンパス事務室などでも対応

各専攻・コース[フレックスクラス]の授業について

コース別一覧

コース	オンラインのみでの修了の可否／週あたりの通学状況	課題研究や研究指導、ゼミの実施方法	フレックスクラスの特徴・特性
人間発達教育専攻			
教育コミュニケーションコース	3 週1回程度	主として通学 〔オンラインを併用〕 〔することも〕	人と人との対話的な関係を大切にしながら、通学とオンライン双方のよさを生かしつつ、教育や人間形成の本質を探究します。
幼年教育・発達支援コース	1 ほぼ通学不要	オンライン	全ての専門科目をオンラインで実施します。対面授業を行うことがありますが、オンラインでも参加可能です。仕事の都合で正規の授業時間に間に合わないときに、授業動画の視聴による受講が可能な科目もあります。課題研究や研究指導は必要に応じて対面で実施し、時間が調整できれば昼間クラスと合同で行うことがあります。
学校心理・学校健康教育・発達支援コース	1 ほぼ通学不要	主としてオンライン 〔進捗により通学も〕 〔あり〕	・授業やゼミはオンラインを中心に実施します。 ・心理検査やデータ分析等については、通学による授業でもサポートします。 ・「心理教育アセスメント」：通学による授業の方が多いです。 ・「発達アセスメントと支援」：15回のうち対面は5回で集中講義で実施します。 ・心理学系の資格取得を希望する場合は、通学による授業を履修する必要があります。 ・1年間に3回開催する修士論文中間発表会は、対面とオンラインを併用します。
臨床心理学コース	1 通学不要	オンライン	教育現場ならびに対人援助現場の課題解決型のクラスです。ICTやオンラインを活用し、自宅にいながらすべての授業を受講できるクラスです。通学の必要はありません。オンデマンドとオンライン（同期型）の併用により講義等を行います。オンライン授業（同期型）は、主に土曜日に開講しますので、勤務しながら学ぶことができます。 （臨床心理士・公認心理師試験受験資格には対応していません）
芸術表現系教育コース（音楽）	2 週1～2回程度	主として通学 〔オンラインを併用する〕 〔ことも〕	実技や演習を伴う科目が多く、演奏による音楽表現を活かした対話的な探究が求められるため、週に1～2回程度の通学による対面授業や、休業期間中の集中講義を実施します。
芸術表現系教育コース（美術）	1 ほぼ通学不要	主としてオンライン 〔希望や必要等に〕 〔応じて通学でも実施〕	オンラインでの受講が可能です。希望や必要等に応じて調整の上、学外での演習や加東キャンパスでの対面授業を実施することがあります。
生活・健康・情報系教育コース	2 技術・情報分野 ほぼ通学不要（研究テーマによる） 家庭分野・ 保健体育分野 ほぼ通学不要	主としてオンライン	技術・情報分野 電気電子、情報科学、教育工学、データサイエンス、技術・情報教育法などの専門分野があります。このうち、情報科学、教育工学、データサイエンスは、研究テーマを工夫することでオンラインによる修了が可能です。（研究テーマによっては、対面による実験が必要な場合があります。）技術・情報教育法は調査や実践等のフィールドを学生自身が有している場合にはオンラインでの修了が可能です。ただし、電気電子は実験実習を要するためオンラインのみでの修了はできません。また、実験実習を伴う通学による集中講義が一部あります。 家庭分野 集中講義による科目の中には、通学により授業を行うものもあります。 保健体育分野 授業やゼミはオンラインで実施していますが、ゼミについては対面での実施も可能です。

オンラインのみで修了可能なコースについても、「オンラインでの同時双方向授業（同期型）と通学による対面授業を選択できるハイフレックス科目」を設定するなど、対面授業を効果的に実施しています。

凡例「オンラインのみでの修了の可否」

1 …ほぼ可能 **2** …選択した授業により通学が必要 **3** …通学が必要

コ ー ス	オンラインのみでの 修了の可否／ 週あたりの通学状況	課題研究や研究指導、 ゼミの実施方法	フレックスクラスの特徴・特性
特別支援教育専攻			
障害科学コース	2 ほぼ通学不要	主としてオンライン 〔一部対面の演習等 あり〕	全国の現職教員が働きながら学修できます。勤務経験等により、特別支援学校（3領域）の1種免許状も取得可能です。 なお、昼間クラスとは開講科目や修了要件が異なります。
教育実践高度化専攻			
学校経営コース	1 通学不要	主としてオンライン	専門科目は、オンライン（録画）を中心に授業を進めますが、昼間クラスの学生との合同授業回も設定し、対面またはオンライン（同時双方向）を選択できるハイフレックス方式で実施します。 修了研究（教育実践研究報告書）に係る課題研究は、昼間クラスの学生との合同授業として設定し、対面またはオンライン（同時双方向）を選択できるハイフレックス方式で実施します。 ゼミ等の研究指導は、オンライン（同時双方向）を中心に実施します。 以上のような授業形態により、修了要件を満たすうえで通学が必要とはなりません。なお、ハイフレックス方式の授業時には、対面参加することも可能であり、修学と仕事の両立を図りながら、フレックスクラスの学生自身が主体的に選択することが可能です。
教育方法・生徒指導 マネジメントコース	1 通学不要	主としてオンライン	原則、非同期型、同期型オンラインによる授業形態を取ります。ただし、教育相談に関する専門科目を選択して履修する場合には、一部を対面式で実施するため、その授業回のみ通学が必要になります。
言語系教科マネジメント コース	1 通学不要	主としてオンライン	コースで開設している専門科目は、オンライン同期型またはオンデマンド（動画視聴）で開講し、2年間で受講できるように開講学期が配慮されています。ゼミ指導は、神戸キャンパスの授業時間帯のほか、週末の昼間など学生の都合によって柔軟に対応するようにしています。
社会系教科マネジメント コース	1 ほぼ通学不要	主としてオンライン	通学による対面指導を取り入れることも可能です。
理数系教科マネジメント コース	1 ほぼ通学不要	主としてオンライン	実験・実習等を必要とする場合は、夏期休業期間中などに通学による対面授業を実施することがあります。
教育政策リーダーコース	1 ほぼ通学不要	主としてオンライン 〔休日や夜間における 指導が中心〕	教員が学生の元に赴き行う「出張講義」（学生の要望等を踏まえた時期・場所で受講が可能です）、教員の授業を収録したネット配信等でフレックスに学ぶことができる「VOD方式講義」、「Web会議システムによる研究指導」、学生が一同に会する「集中演習」や「フィールドワーク」の組み合わせを基本としています。（演習や実習等においては、神戸や各地での対面授業等も一部あります。）
グローバル化推進教育 リーダーコース	1 通学不要	主としてオンライン	講義・演習はオンラインでの実施を基本としますが、個別ゼミは通学での実施も可能です。「グローバル・フィールドワークⅠ（海外）」は長期休業中に昼間クラスと合同で実施します。
授業実践課題探究コース	2 ほぼ通学不要	主としてオンライン	授業実践課題探究コースの専門科目「教育実践リフレクション」は、基本的には修学指導教員と学生がオンラインのゼミ形式で実施しますが、半年に1度、教員と学生全員による「対面による実践の語り合い（合同ゼミ）」を実施します。

先輩に聞く

気になる

津田 二千翔 さん 教育コミュニケーションコース

現在の職業：小学校教諭



自分の「学びたい!」という気持ちを大切に

仕事と大学院での学びの両立をする上で一番大切にしていることは「目の前にある学びを精いっぱい楽しむこと」です。現在、昼間は小学4年生の担任、夜は長期履修制度を活用して大学院生として過ごしています。

周りの友人は、よく私に「大変じゃない?」と声をかけてくれます。その心配の声に対して、いつも決まって「とても充実しているよ!」と返事をします。長期履修制度を活用することで、ゆとりを持って大学院での学びを調整し仕事との両立をすることができています。

私は、大学院での学びの理論と小学校教員としての実践はいつも両輪にあると考えています。その両方ができ、学びの多い今の環境をととても幸せであると感じています。

1年次の授業スケジュール (令和6年度)

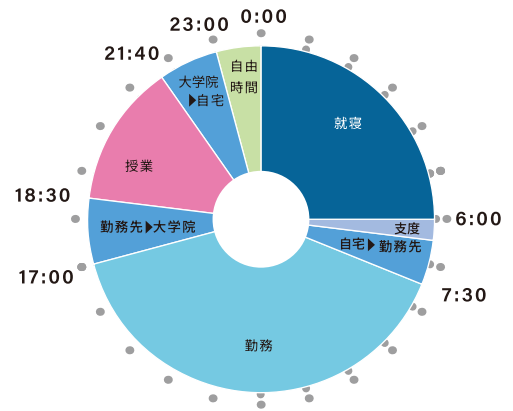
	月	火	水	木	金
前期	6限		ゼミ	子どもの発達と学校の関わり	
	7限		教育コミュニケーション論		

集中講義等：障害児病理

	月	火	水	木	金
後期	6限		教育文化の歴史		教えと学びの哲学
	7限		教育コミュニケーション実践論		ゼミ

集中講義等：学校における防災教育と心のケア、かかわりの発達心理学、特別支援教育課程論、コーディネート基礎論

授業がある日のタイムスケジュール



辻崎 千尋 さん 教育方法・生徒指導マネジメントコース

現在の職業：福井県教育庁高校教育課 主任



学び続ける教員であるために

令和5年度に教育行政に異動となり、職場も仕事の内容も変わりましたが、教育に変革が求められている昨今、今までよりもさらに新しい情報に触れ、深く学び、現場の先生方に還元できるようにしたいと思い、本学への進学を決めました。

オンライン講義のある日は、できるだけ定時に帰れるように仕事の段取りを考え、家族にも支えてもらいながら受講しています。レポートの作成は主に土日を利用しました。

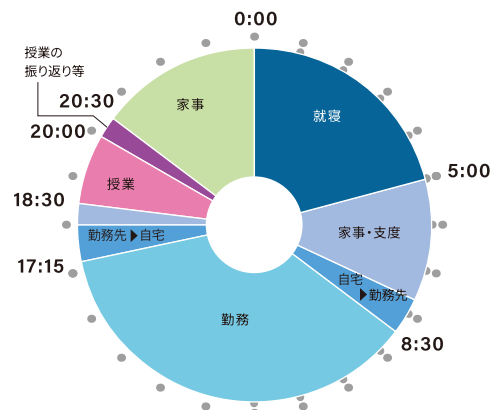
集中講義では、現地に参加できないこともありましたが、オンデマンドで対応してもらえる場合もあり、システムに助けられました。何より、大学院で学んだ内容が、タイムリーに現場の先生方を支援する機会に非常に役立っており、大変満足しています。

1年次の授業スケジュール (令和6年度)

	月	火	水	木	金
前期	6限		教員の社会的役割と自己啓発		教員のための学校組織マネジメントの実践演習
	7限		教師発達とメンタリング	包括的児童生徒支援に関する事例研究	

	月	火	水	木	金
後期	6限			円滑な学級経営のための力量形成	
	7限	学校カリキュラムのデザインと評価	生徒指導とキャリア教育		

授業がある日のタイムスケジュール



仕事と学びの両立は？

先輩に聞く

荻田 剛志 さん

授業実践課題探究コース

現在の職業：公立小学校教諭



充実の日々

「なぜ今日の授業はうまくいったのか。理論的に学んでみたい!」

それが大学院を志すきっかけでした。仕事と両立できるか、最初は正直不安でした。

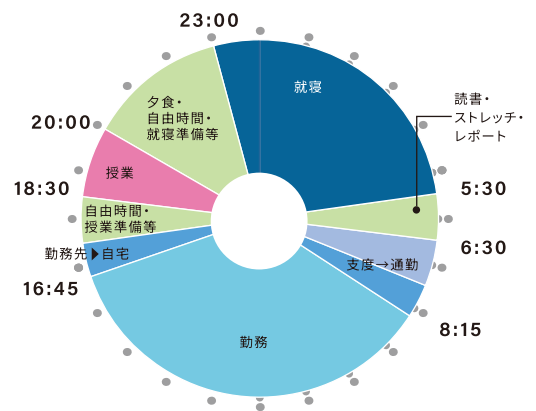
しかし、大学院で学んだことを明日の教室ですぐに実践できることで授業改善につながり、毎日が新鮮なものになりました。コース内では、さまざまな立場の方と一緒に学ぶ機会もあり、半年に一回の研究発表会ではいつも刺激を受けています。

また、大学院に通うことで、時間に対する意識の変化も起こりました。朝の時間を、大切なことや深く考える時間に充て、夜は大学院の授業というリズムができました。長期履修制度を利用しているので自分のペースで学べ、家族との時間も大切にできています。

2年次の授業スケジュール(令和6年度)

		月	火	水	木	金
前期	6限		ゼミ	教員の社会的役割と自己啓発	子どもの発達と学校の関わり	
	7限		世界の教育			
		月	火	水	木	金
後期	6限	ライフスタイルと健康	ゼミ			円滑な学級経営のための力量形成
	7限					

授業がある日のタイムスケジュール



安達 祐佳 さん グローバル化推進教育リーダーコース

現在の職業：日本人学校教諭



なりたい自分になるために

前任校の校長先生に大学院修学を勧められ、進学を決意しました。教科の実践は勤務校で取り組みますが、国際理解教育の研究には外部の支援が必要でした。そうした中、本コースとの出会いはまさに運命を感じました。

現在、国際情報の分析や外国にルーツを持つ児童への支援について学び、日本社会の多様化が進む中で、「すべての人が自分らしく生きられる社会」を実現するために何ができるかを模索しています。

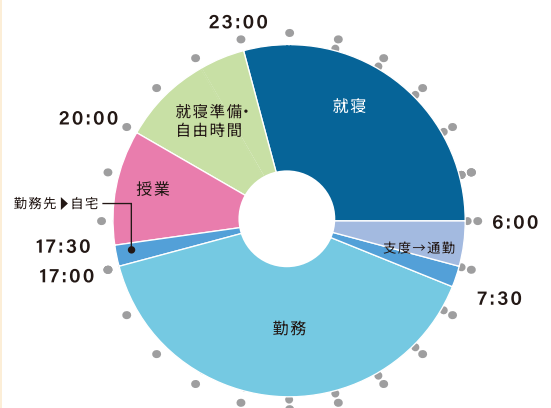
私は上海に在住していますが、フレックスクラスは世界中どこにいてもオンラインで受講できます。この柔軟な環境のおかげで、充実した大学院生活を送ることができています。日本に本帰国した際には、本学で得た知識と経験を生かし、次の目標に向かって挑戦し続けます。

1年次の授業スケジュール(令和6年度)

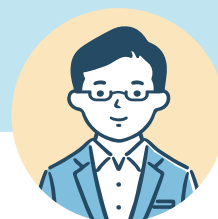
		月	火	水	木	金
前期	6限		英語を活用した論理的思考		実用外国語演習	教員のための学校組織マネジメントの実践演習
	7限		世界の教育		包括的児童生徒支援に関する事例研究	国際理解教育Ⅰ(基礎)
集中講義等：学校教育基礎実習、児童生徒を活かす学級経営の実践演習						
		月	火	水	木	金
後期	6限			外国人児童生徒の指導と多文化共生教育	初等国語科教材研究・授業づくり	円滑な学級経営のための力量形成
	7限		国際理解教育Ⅱ(応用と実践)			

集中講義等：授業におけるICT活用、学校における特別支援教育への対応と方法、グローバル・フィールドワークⅠ(海外)ほか

授業がある日のタイムスケジュール



Q&A



Q 2年間または3年間(長期履修学生制度を活用)で修了を目指す場合、それぞれ1週間にどれくらい授業を履修する必要がありますか？

A

履修する授業科目やコースにより異なりますが、目安としては以下のとおりです。

【修士課程】

2年間の場合:週2〜3日+集中講義(土日祝日や長期休業中に実施)

3年間の場合:週1〜2日+集中講義(土日祝日や長期休業中に実施)

【専門職学位課程】

2年間の場合:週3〜4日+集中講義(土日祝日や長期休業中に実施)

3年間の場合:週2〜3日+集中講義(土日祝日や長期休業中に実施)

1年目(長期履修学生の場合は1・2年目)に必要な授業科目を履修し、最終学年では修士論文(修士課程)や実践研究(専門職学位課程)に集中して取り組む学生も多くいます。

Q 現職教員ですが、教職大学院(フレックスクラス)の実習科目はすべて履修が必要でしょうか？

A

教職経験年数等、所定の要件を満たす学生は、大学が設定する課題についてのレポート及び実践活動実績に関する資料を提出し、審査に合格した場合は実習科目の一部又は全部の単位の修得を免除することが可能です。

Q フレックスクラスの学生の課題研究(ゼミ)や修士論文作成のための研究指導はいつ行われますか？

A

学生と指導教員で実施する曜日・時間等を相談のうえ、決定します。教育実践高度化専攻については、課題研究及び修士論文作成のための研究指導は行いませんが、各コースの専門科目の中で、ゼミ(コースワーク)等を行います。

Q 神戸キャンパスや加東キャンパスで土曜日等にも授業が開講されることはありますか？

A

通学は、原則神戸キャンパスになりますが、実験・実習・実技については、設備の関係上、加東キャンパスで実施することがあります。

修士課程の共通科目(選択必修)および神戸キャンパスの特別支援教育プログラムの一部の科目は、土・日曜や休業期間中に集中講義として、神戸キャンパスで開講します。

また、各専攻・コースの専門科目のうち集中講義で行う授業科目を選択して履修した場合は、加東キャンパス(加東市)で開講することがあります。

Q 仕事の都合で、急遽授業に出席できなくなった場合、どうすればよいですか？

A

欠席届(所定様式)を事前に授業担当教員に提出します。やむを得ず事前に提出できない場合は、事後に速やかに提出します。

Q フレックスクラスの授業科目の成績評価は、どのように行われますか？

A

授業により評価の方法や観点は異なりますが、オンデマンド型授業は主にレポート等の成果物、対面授業やオンライン同期型授業では成果物に加えて、発表や模擬授業、討論等への参加度や貢献度等も踏まえて総合的に評価されます。

Q 昼間クラスとフレックスクラスでカリキュラムに違いはありますか？

A

一部コースを除き、昼間クラスとフレックスクラスのカリキュラムに大きな違いはありません。

その他のよくある質問はこちら ▶



神戸キャンパスへのアクセス



各コース紹介



入試情報



大学院説明会



神戸キャンパス

兵庫教育大学大学院入学相談室

TEL 0795-44-2359

E-mail guidance-info@ml.hyogo-u.ac.jp

2025.4.1 発行